

長寿のかから版



平成24年5月1日発行
号 外

社会福祉法人 とおの松寿会

特別養護老人ホーム 老人短期入所施設 老人デイサービスセンター 生活支援ハウス 居宅介護サポートセンター	遠野長寿の郷 遠野長寿の郷 長寿園 長寿園 長寿園	〒028-0541 岩手県遠野市 松崎町白岩18-7 TEL 0198-63-1770 FAX 0198-63-1815
養護老人ホーム デイサービスセンター ヘルパーステーション	長寿の森 吉祥園 長寿の森 踊鹿 長寿の森	〒028-0501 岩手県遠野市 青笹町糠前 9-7-67 TEL 0198-62-2028 FAX 0198-62-0759
小規模多機能型居宅介護事業所 グループホーム 在宅介護支援センター 遠野	長寿庵 長寿庵	〒028-0501 岩手県遠野市 材木町2-22 TEL 0198-63-1328 FAX 0198-63-1338

平成24年4月10日付で、社会福祉法人とおの松寿会理事長、養護老人ホーム長寿の森吉祥園施設長の遠藤利則、地域密着型サービス拠点長寿庵施設長の松田拓矢より皆様にご挨拶を申し上げます。

社会福祉法人とおの松寿会

理事長 松田 功

この度、役員改選に伴い前理事長の川上淳氏の辞任に伴い、私こと松田功が理事長に就任いたしました。どうぞ宜しくお願いします。

さて、理事長に就任し身の引き締まる思いであります。従来は理事長の下で常務理事として、運営に関わっていただければ心理的に気持ちよくありました。しかし、これからは従来通り責務を果たせばいいという考え方は甘いと思っています。これから理事長としての重責を問われると思います。そのような中で慎重に取り組んでまいりたいと思います。又、前理事長の業績を今迄通り踏襲してまいりたいと思います。今迄の考え方や習慣を簡単に変えられるもの出ないと思います。

さて、昨今の福祉行政は益々厳しくなる一方で健全な経営を脅かすような事が国から通達されております。その最たるものは介護報酬の減額です。今回は二・四％の減額です。当法人の場合は年間、数千万円の減額になります。このような通達は施設経営を脅かすものです。特に処遇改善費等は職員確保の為に継続するという事でしたが、最近の内容は事業主で負担するようになりまして、一方で介護報酬を減額するというやり方です。この事で法人側とすれば、処遇改善費と介護報酬減額分でプラスマイナスゼロとなります。実質は減額するというカラクリをしています。非常に残念です。そんな中で我々が行動を起こすべきは、何と言ってもコストの削減を考えなければなりません。それには職員全員の協力を得て進めていかなければなりません。皆様には大変苦勞を掛けますが宜しくお願いします。

尚、今回の報酬減額分の収入を確保する為と品質の高い介護を行う為に、当法人は次の新規事業を行い、収入と収益の確保を図りたいと考えています。

その一つ目として法人独自の給食センターの運営です。今迄の考え方を改め大幅なコストを削減できる給食センターを作りたいと思います。これにより三割程の給食費の削減が可能となります。二つ目は、サービス付きの高齢者賃貸住宅の運営です。二か所ほど建設を考えています。三つ目は、今後国の財政は厳しく補助金での大規模な施設の建設は無理だと思います。そこで小規模の特養を建設し低廉なコストで運営出来るものを作り、これらの運営が順調になれば収入アップと介護報酬の減額分の収益の確保が期待できると思います。その為に今回、新規事業推進室を設けて本格的に取り組んでまいります。この事業は私にとっては最も期待する事業です。この施設が完成すると「とおの松寿会」の施設整備はほぼ終わります。この施設の完成で利用者さんの利便さは勿論ですが、今以上に地域に貢献できると考えています。

更に若者に対して雇用場の確保する事にも大きく貢献します。そもそも人に「職を与える事の意義」は何かというところ、人間に生活の手段を与えるだけでなく、自分に対する尊厳と誇りを確立する手段である。若者が誇りを持って高齢者の福祉を率先して取り組んで頂ければ高齢者の方々は安心して老後を暮らせます。その事が幅広く社会貢献に繋がります。このような事を考えながら施設の運営を進めてまいりますので今後ともご協力をお願いして、理事長就任の挨拶といたします。

養護老人ホーム長寿の森吉祥園

施設長 遠藤 利則

山の緑が美しい季節を迎え、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。この4月より芳賀前施設長の後任として、長寿の森吉祥園の施設長に就任致しました。

吉祥園は、昭和42年に開所して今年で45年。私ども社会福祉法人とおの松寿会が遠野市から経営を引き継いで8年経過致しました。これまで大過なく過ごすことができましたのも、地域の皆様、関係機関の皆様の支えがあったからと感謝に堪えません。日頃から地域貢献をモットーに取り組んで参りましたが、昨年の東日本大震災では、津波の被害を受けた釜石市の養護老人ホームの利用者の皆様を一時的に受け入れ、ここから県内各地のホームへ送り出しました。その中の一部の方は、再び釜石に戻ることを願いつつ、当施設で暮らしております。施設が利用者の皆様にとって安全で、安心して暮らせる住まいであることを第一とし、今後も地域の皆様の出来る限りのお力になりたいと考えております。

私は障害者福祉に長く関わり、高齢者福祉に携わってまだ、10年の浅い経験しかございませんが、利用者様にとって暮らしやすい環境作り、そして働く職員にとって働きやすい環境作りに努力したいと考えています。

これから長寿の森吉祥園が、皆様方のご期待に添えますよう、職員一同努力して参りますので、何卒ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

地域密着型サービス拠点長寿庵

施設長 松田 拓矢

謹啓 陽春の候皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび平成24年4月10日をもって、社会福祉法人とおの松寿会長寿庵施設長に就任いたしました。利用者ご家族様はじめ地域の自治会及び住民の皆様方並びにボランティア様には、高齢者福祉にご理解と、当施設の運営や各種の行事にご参加を頂きまして、心から感謝と御礼を申し上げます。

これからも、「地域の高齢者が、安全で快適な生活が送れるよう、事業目的に沿って地域と共に自らも永遠に発展する」を基本理念に、全職員一丸になって高齢者福祉の向上を目指し、日夜努力をして参りますので、今後ともご指導・ご鞭撻方よろしくお願い申し上げます。

謹白

